



# こども記者が宮城・松島のカフェ取材

## 「不易流行」の心 人幸せに



店内のキッチンで吉岡さん(左端)の説明を聞くこども記者と(奥右から)千葉伸一さん、綾子さん

宮城県松島町松島二小のこども記者、阿部衣吹さんと千葉うめ子さんは、同町内のカフェ「Le Rom an(ロマン)」を訪ねました。(1面に関連記事)

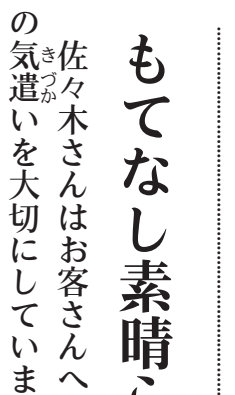
小高い丘「西行戻しの松公園」の一角。全面ガラス張りの建物からは、松島湾が一望できます。

カフェを始めた理由を聞くと、経営する千葉伸一さん(49)と妻の綾子さん(49)は「若い頃に行ったパリの街中にカフェがたくさんあ



もてなし素晴らしい 千葉うめ子さん

佐々木さんはお客さんへの気遣いを大切にしている。不易流行を大切にす



取材を終えて

大きな夢を持ちたい 阿部衣吹さん

心に残ったのは、佐々木さんの「日本中の人を乗せ



「不易流行」を大切にしているそう。「松島の景色など本質的な価値を生かして人を幸せにしたい」と力を込めます。

「ピンチだったことは何

ですか」。うめ子さんの問いに「東日本大震災で建物が壊れました。くじけそうだったけど、壊れた窓に『待ってるよ』という手紙が貼ってあった。再開を決意しました」と振り返りました。

特別に、2人はキッチンを見学。「いろいろな人に会って話して食べて、新メニューを増やしたい」と語りました。

ユーのヒントを得ます」というスタッフの吉岡あゆみさん(29)の話に耳を傾けました。

「松島をどうしていきたいですか」と質問され、伸一さんは「満足できれば、また来ようと思う。住んでみようと思う人もいるかもしれない。松島のファンを増やしたい」と語りました。

たい」という言葉です。佐々木さんも千葉さんも、世界中の人に松島を知ってもらいたいという夢を持っていて、カッコいいです。自分も大きな夢を持った人になりたいです。

スマホでも、タブレットでも、パソコンでも、いつでもどこでも

**使わないのはもったいない!**

新聞購読者限定

河北新報 **デジタル紙面**

登録受付中!!

拡大して文字くつきり読みやすい!

新聞紙面と同じレイアウト!

通勤中や旅先などいつでもどこでも読める!

過去1週間分の紙面が読める!

突然の災害時にも避難先で読める!

新聞では白黒の写真もカラーで表示 ※一部例外あり

河北新報をご購読いただいている方は登録料・使用料 **無料!** (法人は対象外)

会員登録はこちらから

http://np.kahoku.co.jp/

■問い合わせ先 [河北新報IDカスタマーセンター]  
022-355-8825(平日10:00~17:00)  
E-mail: dp-info@po.kahoku.co.jp